



【2025 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/臨床人間学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	0	80	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	5	15
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	20	0	5	25
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	20	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	PBL 演習にてまとめた事例について、ポスター発表を行い、評価を受ける。発表内容について、学生間及び教員評価により採点する。				コメントを付して返却する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	PBL 授業の全体を通じて、自己（自分及びグループに対する評価と記録）の取り組みを評価した活動評価表の提出を求める。また、グループメンバーからの他者評価を受けることも含まれる。				コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	粕山 達也、坂本 祐太、浅野 克俊、高田 毅、間嶋 健、伊丹 幸子、森川 三郎						
教員の実務経験	各教員は医療、福祉、心理、看護等の現場で実践的な職務経験を経ている。						
実践的授業の内容	看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師等の国家資格を有した各専門分野の教員がファシリテーター役となり、専門分野の立場から臨床事例へ幅広い見識にて助言を行う。						
そ の 他	本科目はグループ活動への積極的参加が前提であり、原則として全ての回に出席すること。なお、本学の規程に基づき演習系授業に該当するため、出席回数5分の4以上が単位取得には必要となる。また、全8回が登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。						